

公園等の充足状況の分析方法（案）について

1)目的

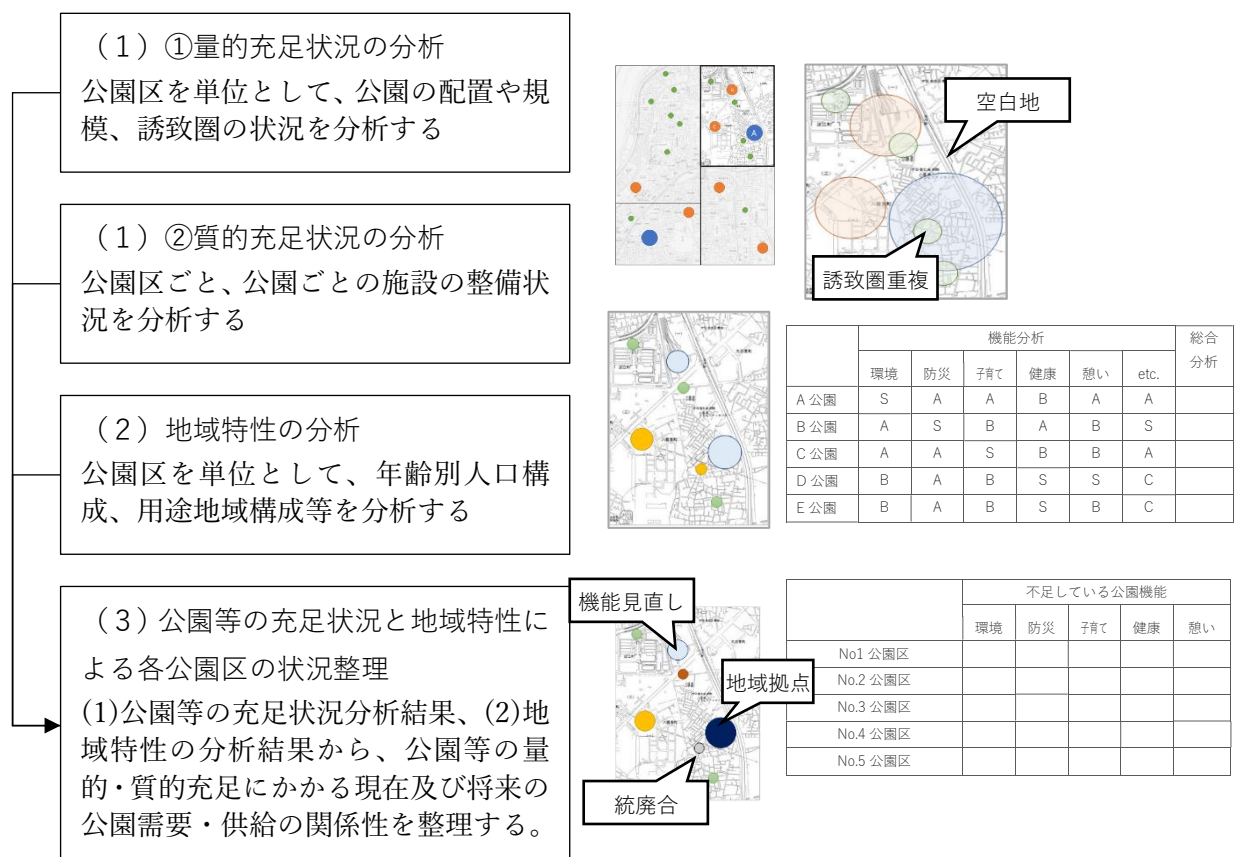
公園区の公園等整備状況、人口分布・人口構成、都市計画上の位置づけ等の公園整備・運営に係るデータをもとに、各公園区の公園等の充足状況とそれに関連する地域的な特性について整理・分析し、今後行うパークマネジメント計画や公園区計画の参考に資する情報のとりまとめを行う。

2)作業内容

公園等の充足状況について、整備量など量的状況、施設（機能）の配置など質的状況の2側面から整理したうえで、量的整理と質的整理を統合し、各公園区の充足状況を総合的に整理する。

公園区の人口特性、社会的特性（用途地域や住宅所有形態等）の2側面から整理したうえで、人口特性、社会的特性を統合し、各公園区の地域特性を総合的に整理する。

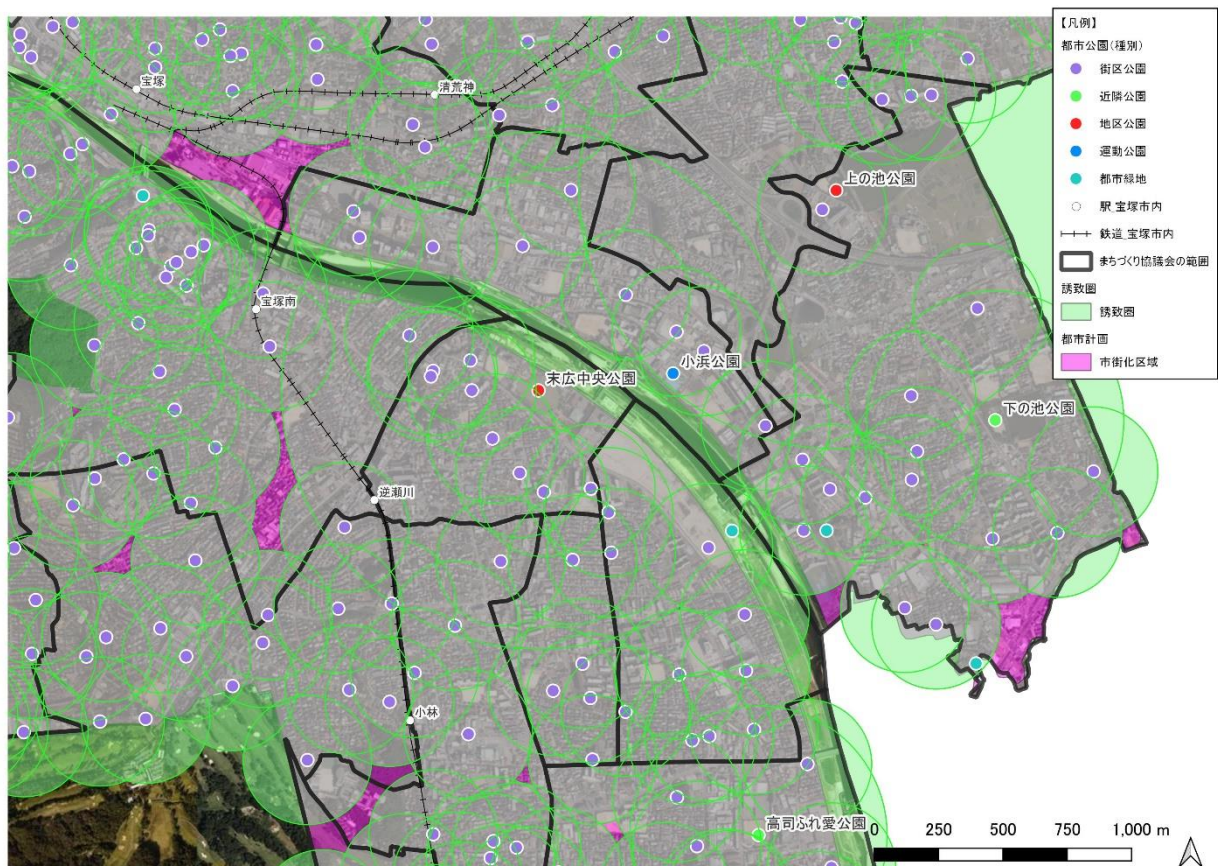
最終的に、各公園区の総合的な充足状況と、総合的な地域特性を整理し、公園等の充足状況と地域特性から示される、各公園区の量的、質的な整備の望ましい方向性を示す。



(1)公園等の充足状況分析

①量的充足状況の整理

公園区ごとに不足している公園種別の公園があるか等、量的充足状況の分析を行う。



分析項目(案)

1.公園区ごとの人口一人当り公園等面積

人口一人当たりの公園等の整備量の評価指標。

公園区推定人口（町丁目界と公園区界の重複を踏まえ、2020 年国勢調査結果から推定）と公園区ごとの公園等合計面積から人口一人当り面積を算出。

2.公園区ごとの公園種別別または面積規模別公園等箇所数

公園種別または面積規模に象徴される、公園等一箇所あたりの役割・規模のもつ機能性の評価指標。公園区ごとの公園等総箇所数を母数として、種別別箇所数や面積規模別箇所数による構成割合を算出する。

※ただし、具体的な整理内容（種別別/面積規模別）については、データ内容を踏まえ検討。

街区公園など同一種別でも、公園間で面積に開きが大きな場合は、種別別ではなく面積規模別などが望ましいか。

3.公園区ごとの誘致圏カバー面積割合

公園のもつ機能の提供範囲（「誘致圏」）に関する評価指標。

GIS を使用し、公園等の代表点から一定の距離による誘致圏データを作成。その際、誘致圏については、河川や鉄道等の分断要素を加味し、現実的な機能提供の範囲を検討する。

公園区界と誘致圏の重複面積を算出し、各公園区の面積で除することで、公園区ごとの誘致圏カバー面積割合を算出する。

②質的充足状況の整理

公園区ごとに機能が重複していたり不足していたりする公園があるか、公園区内の各公園等による機能の提供状況など、質的充足状況の分析を行う。

分析項目(案)

4.各公園等の公園施設種類の施設数

各公園等に設置されている種類別施設数の構成などの特徴をもとに各公園等の機能を位置づけ。

各公園等の種類別施設数について統計解析（クラスター分析）を実施し、全体的な施設設置の構成に照らして、特徴的な施設設置が行われている公園をグルーピング。それらの特徴（各グループに位置づけられた公園の種類別平均施設数など）から、どのような機能を持つ公園であるか解釈を行う。

【機能分類のイメージ】

機能(仮)	種類別施設数の構成などの特徴
標準（多機能）	特定の施設に特化せず、多様な施設が満遍なく整備された公園
子育て	児童用遊具等を中心とした公園
親子遊び	幼児用遊具等を中心とした公園
休憩・憩い	休憩所、ベンチ等を中心とした公園
運動	運動施設を中心とした公園
健康づくり	健康器具、散策路等を中心とした公園
ボール遊び	ボール遊びのできる広場や防球ネット等を中心とした公園
防災	防災倉庫、防災トイレ等関連施設を中心とした公園
自然	芝生広場、花壇、樹林、水域等を中心とした公園
にぎわい交流	広場や駐車場などが整備され、集客や地域の交流を目的としたイベント開催が比較的多い公園
（その他）	そのほか、特徴的な施設・機能、使われ方などを有する公園について、それら特徴をもとに位置づけ

※次年度行うパークマネジメント計画の検討（機能分担等）を視野に、公園施設等の情報をもとに、上表のような機能を位置づけることをイメージ。

5.公園区ごとの公園施設種類の施設数

公園区ごとに種類別施設数等（人口一人当たり種類別施設数など）を整理し、各公園区の施設設置の特徴について取りまとめる。

③量的充足状況および質的充足状況の統合的な整理

①②における整理結果をもとに、公園等の充足状況に関するクロス整理を実施。それにより、量的側面、質的側面を統合した、各公園区の充足状況の位置づけ整理を実施する。

【量的充足状況および質的充足状況の統合的な整理のイメージ】

量的充足状況(仮)		質的充足状況(仮)		公園整備の統合的な分類(仮)
顕著に充足している		標準的な状況		量が顕著に充足し、標準的な状況
やや充足している	×	休憩・憩い機能が中心	=	量が顕著に充足し、休憩・憩い機能が中心
やや不足している		健康づくり機能が中心		量が顕著に充足し、健康づくり機能が中心
顕著に不足している		子育て機能が中心		…

(2)地域特性の分析

①人口特性の整理

各公園区の居住人口、年齢層の構成など人口特性の整理を実施する。

6.各公園区の居住人口

各公園区に占める町丁目別面積の割合を算出し、町丁目別人口(令和2年国勢調査結果等)に乗じることで、各公園区の居住人口を推定。推定結果は(1)①の「公園区ごとの人口一人当り公園等面積」の整理に活用する。

7.各公園区の年齢層別人口

各町丁目の年齢層(10歳階級等)別の人口割合から、各公園区の年齢層別人口を推定する。

②社会的特性の整理

各公園区の社会的な特性を示す用途地域構成、住宅所有形態等の整理を実施する。

8.各公園区の用途地域別面積の構成

都市計画用途地域指定と公園区の重複状況から、各公園区の用途地域別面積の割合を算出。

9.各公園区の住宅所有形態別世帯数の構成

各町丁目の住宅所有形態(持ち家、民営借家等)別世帯数の割合(令和2年国勢調査結果等)から、各公園区の住宅所有の特徴を整理する。

(※住宅所有形態から居住移動の発生しやすさ/しにくさと将来的な人口動向を整理)

③地域特性の統合的な整理

①②における整理結果をもとに、各公園区の地域特性に関するクロス整理を実施。それにより、人口特性、社会的特性を統合した、各公園区の地域特性について整理する。

【地域特性の統合的な整理のイメージ】

人口特性(仮)		社会的特性(仮)		地域特性の統合的な分類(仮)
若年層が顕著に多い	×	持ち家戸建てが卓越	=	若年層が顕著に多く、持ち家戸建てが卓越
若年層が多い		持ち家中高層が卓越		若年層が顕著に多く、持ち家中高層が卓越
高齢者が多い		借家中高層が卓越		若年層が顕著に多く、借家中高層が卓越
高齢者が顕著に多い		商業地域が卓越		...

(3)公園等の充足状況と地域特性による各公園区の状況整理

(1)公園等の充足状況分析結果、(2)地域特性の分析結果から、公園等の量的・質的充足にかかる現在及び将来の公園需要・供給の関係性を整理する。

【公園等の充足状況と地域特性による各公園区の状況整理のイメージ】

公園整備の統合的な分類 (仮)		地域特性の統合的な分類 (仮)		各公園区の需給状況の整理(仮)
量が顕著に充足し、標準的な状況		若年層が顕著に多く、持ち家戸建てが卓越		現状は子育て機能に不足の可能性があるが、将来的には不足が解消する可能性高い
量が顕著に充足し、休憩・憩い機能が中心	×	若年層が顕著に多く、持ち家中高層が卓越	=	現状ならびに将来にわたって子育て機能に不足の可能性があり、子育て機能を充実することが望ましい
量が顕著に充足し、健康づくり機能が中心		若年層が顕著に多く、借家中高層が卓越		...
...		...		...

【公園需要・供給の関係性の概念イメージ】 ※量的・質的にそれぞれ分けて整理

